

I R 事業の取り組みについて

令和 6 年 6 月 24 日
大阪府・大阪市 I R 推進局

I R工事に係る万博との調整について

【万博との工事調整等】 ※ I R 工事工程の進捗に応じて具体的調整を実施

- ・万博・IRともに重要事業であることに鑑み、各々が成り立つよう最大限調整
- ・万博開催期間中は、万博会場に対して交通アクセス・騒音・振動・粉塵等の悪影響が生じることを防止するために適切な対策を実施
- ・万博会場に対する影響が特に大きい工事については、工事工程及び施工方法等について調整

◆景観対策

- ・南西部の残土仮置位置を南側敷地境界から約50m程度の離隔
- ・仮設事務所等による遮断

◆騒音対策

- ・施工基盤面下げ（道路面から約3.0～約7.6m）
- ・低騒音工法の選定

◆粉塵対策

- ・南西部の残土仮置位置を南側敷地境界から約50m程度の離隔
- ・南西部の残土仮置作業について万博開催前の完了をめざす
- ・施工基盤面下げ（道路面から約3.0～約7.6m）

＜万博開催中の I R 敷地内イメージ＞



※今後の施工計画の検討により、変更となる可能性あり

I R 工事に係る万博との主な調整事項（交通影響検討除く）

事項	内容		対応
工事内容	1	万博期間中はIR北側での工事とする等の配慮	IR区域南西部の残土仮置場は、外周道路から離隔をとる。 その他のブロックについては、2030年秋開業に向けた工程に基づき必要な環境対策をとったうえで工事を進める。 【別紙①「IR工事工程について」参照】
	2	夢洲北岸西側の船着場からの輸送と夢洲1区への残土搬出の調整	夢洲1区への残土搬出車両について、来場者通行に支障のないよう、動線を調整し、安全対策を実施。
	3	ガードマンなどの安全措置の計画等、工事車両通行による近隣道路の清掃	工事車両出入口に交通誘導員を配置、敷地出発時に工事車両の足洗いの徹底。
	4	万博へのIR用地の提供(工事期間・開催期間)	【万博工事期間中】 IR用地北西部約 1 haを提供(R6.3提示済)。 加えて、北西部の約 1 haを追加提供。 【万博開催期間中】 万博工事期間中に提供可能な北西部約 1 ha(R6.3提示済)について、引き続き提供。 【別紙②「万博へのIR用地の提供」参照】
	5	主要催事におけるVIP対応への影響	事前の通知時期について調整のうえ、VIP往来に伴う警察の通行規制に従う。
	6	無線機、トランシーバーの混信を防止	使用する無線の周波数、チャンネルについて、混信しないよう調整。
騒音振動	7	IR敷地に近い万博施設における騒音・振動予測値	博覧会協会からの条件提示を受け、騒音・振動レベルを整理中。
粉塵	8	来場者への健康被害、屋外施設・団体休憩所への影響、機械設備(バス・空飛ぶクルマ)への影響に配慮した工事車両動線の舗装、散水の実施	粉塵対策として散水や足洗いの徹底。

I R工事に係る万博との主な調整事項（交通影響検討除く）

事項	内容		対応
水質	9	海水を活用した水上ショーの実施があるため、工事排水による水質悪化に配慮	工事排水については、法令に基づき水質検査のうえ雨水管から放流。
臭気	10	埋立地を掘削することによる臭気発生の懸念	万博開催期間中において悪臭を発生させる行為はない。
イベント	11	万博会場周辺(上空・海域)におけるイベント実施の影響(ドローン、空飛ぶクルマ、花火等の安全確保)	各種イベントの影響範囲(飛行範囲、実施場所等)について確認・調整。
景観	12	万博会場の地上、リング上からのIR工事の見え方の図示	博覧会協会からの条件提示を受け、4つの視点場からのクレーン等の見え方について整理中。
	13	イベント時における工事現場からの照射の影響(夕暮れ・夜間)	イベント開催場所をご提示頂いた後、施工の安全性を考慮し施工業者と検討する。
	14	夢洲駅出口、観光外周道路からみた万能堀の見せ方の工夫	万博開催を踏まえた万能堀(高さ2m)のデザイン等について調整中。
	15	浮棧橋周辺(シャトルバスへの乗り換え場所)の景観の配慮	要請事項を整理のうえ、施工業者と調整する。
	16	工事車両の出入口の提示、IR工事現場内での待機	各工区毎に出入口を配置し、外周道路上での待機は行わない。

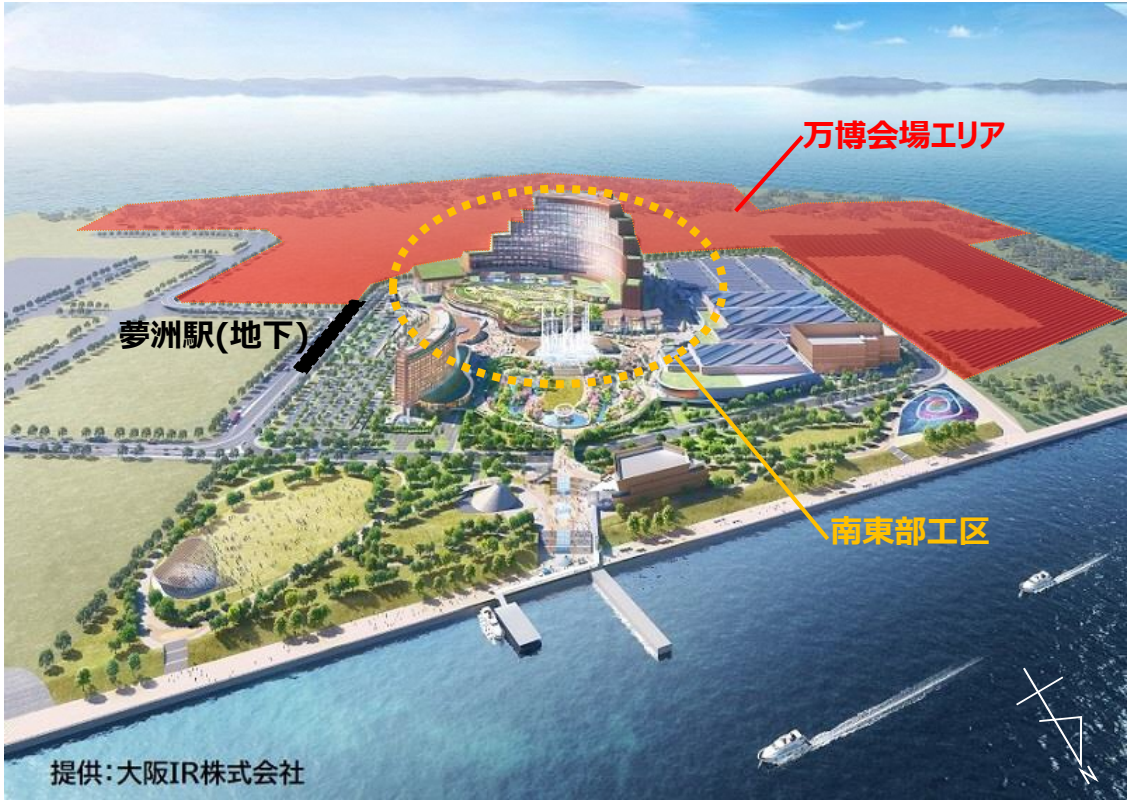
別紙① I R工事工程について

◆ I R施設配置

- I R施設配置において、夢洲駅に近い南東部工区に超高層の建築物を配置



- 万博開催期間中に会場近傍での施設建設が必要



◆ 工程（南東部工区） ※現時点での想定であり、今後、変更になる可能性がある

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
準備工事	山留・杭工事	基礎工事・躯体工事	外装・仕上工事・外構工事・内装テナント工事		検査・開業準備	
液状化対策・地中障害物撤去工事						

- ① 万博会場近傍のIR区域南東部の工区では、準備工事から内装テナント工事まで約 6 年の工期を要するため、2030年秋頃の開業に向けて、万博開催期間中も工事を進める必要がある
- ② なお、早期に施設の建設に着手する必要のない工区については、万博に配慮し、万博閉幕後に着手する

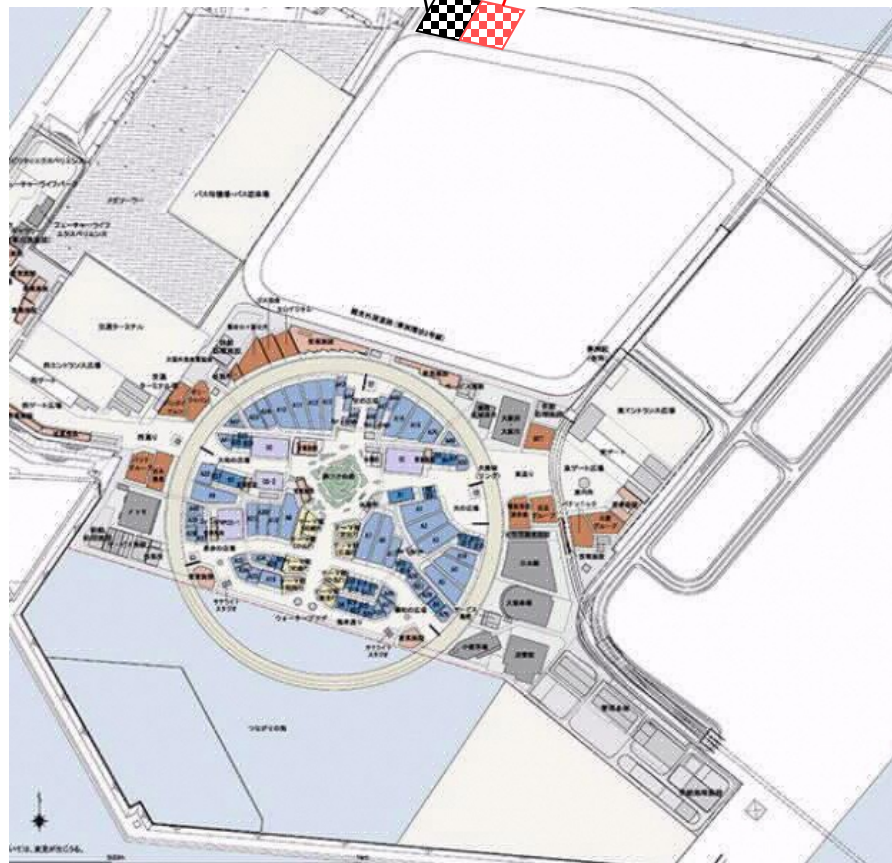
別紙② 万博へのI R用地の提供

万博工事期間中

北西部約 1 ha(R6.3提示済)に加え、約 1 haを追加提供(計約 2 ha)

約 1 ha(提示済)

約 1 ha(追加)



万博開催期間中

万博工事期間中に提供可能な北西部約 1 ha(R6.3提示済)について、引き続き提供

約 1 ha(新規)



※詳細の位置、面積等については、今後調整が必要